

## 国立極地研究所プロジェクト研究一覧

### プロジェクト研究

番号	研究課題名	研究目的	代表者・連絡先
KP-4	東南極海洋の環境変動の研究	本研究では、南大洋インド洋区において日本南極地域観測事業で得た既存の海洋観測データ及びその他関連事業（特に観測実績を有するオーストラリアの事業）の観測データをも取り込み、南大洋インド洋区に関する包括的データベースを構築し、海洋物理過程、海洋化学過程、海洋生物過程における変動解析を行う。また、日本南極地域観測事業の第VIII期計画では、重点研究観測として「南極海生態系の応答を通して探る地球環境変動」が実施されている。海洋温暖化・酸性化は海洋物理、化学、生物プロセスすべてに関わる複合的な事象を対象とするが、本重点研究観測では、特に、生態系の構造と機能及び関連する物質循環についての定量的な現状把握を目指している。本研究では、この重点観測で得られた資試料の国内で分析・解析や、必要に応じて現場観測をも対応するものである。	福地 光男教授 042-512-0740 fukuchi@nipr.ac.jp
KP-5	太陽風エネルギーの磁気圏流入に対する電離圏応答の南北極域共役性の研究	本研究では、宙空間研究グループが南極域、北極域で進めている、大型短波レーダー、無人磁力計、オーロラ光学観測網など複合的な両極広域ネットワーク観測によって得られたデータを用いて、オーロラ現象の南北共役性やそれに関連する太陽風－磁気圏－電離圏現象の総合的な解析研究を行う。	山岸 久雄教授 042-512-0657 yamagisi@nipr.ac.jp
KP-6	太陽系惑星物質の起源と進化過程の解明	本研究では、南極隕石中のコンドライト、エコンドライト、月隕石、火星隕石などの岩石鉱物学的研究、宇宙化学的研究によって、微惑星の集積過程、母天体での火成作用、変成作用、表層における他天体との衝突による角れき化などのイベントを復元し、太陽系始原物質の起源と進化を探る。更に小惑星からのサンプルリターンに向けて試料の分析技術や手法の開発を試みる。	小島 秀康教授 042-512-0708 kojima@nipr.ac.jp
KP-8	環境変動に対する極域生物の生態的応答プロセスの研究	本研究では、南極陸上域を拠点とした動物調査によって得られたデータから、極域生物の環境変動に対する生態応答プロセスを明らかにすることを目的とする。JARE 第 VIII 期一般研究観測課題「中期的気候変化に対するアデリーペンギンの生態応答メカニズムに関する研究」の取りまとめに対応した研究を実施する。	伊村 智准教授 042-512-0737 imura@nipr.ac.jp